



平成 26 年 7 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A N A P

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 家 高 利 康

(コード : 3 1 8 9)

問 合 せ 先 執 行 役 員 財 務 経 理 部 長 名 和 俊 輔

T E L . 0 3 - 5 7 7 2 - 2 7 1 7

業績予想の修正及び不採算店舗の閉鎖に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 4 月 11 日に公表いたしました平成 26 年 8 月期(平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正するとともに、不採算店舗を閉鎖することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

当期の業績予想数値の修正 (平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 9,266	百万円 0	百万円 10	百万円 △54	円 銭 △26.47
今回修正予想 (B)	8,879	△481	△465	△386	△189.63
増 減 額 (B - A)	△387	△481	△475	△332	—
増 減 率 (%)	△4.2	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 25 年 8 月期)	8,590	402	621	261	150.10

(2) 修正の理由

当社が属するレディースファッション業界におきましては、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が見られたものの、その後の反動が依然として懸念されるなど、不透明な状況が継続しております。また、円安の進行による輸入原材料の高騰、及び明確なファッショントレンド不在が影響し、厳しい経営環境が続いております。

当社につきましては、デフレ環境が根強く残る中、トレンド不在の市場環境が重なり、前回予想を下回る業績見通しとなりました。

売上高につきましては、第3四半期会計期間における既存店売上高の減少、及び第4四半期会計期間における既存店売上高の前年対比を修正した結果、前回予想を387百万円下回る8,879百万円となる見込みであります。

利益面につきましては、在庫圧縮に伴いセール販売を増加したため、粗利率が低下し、売上総利益が当初計画から乖離しました。以上の結果、売上高の計画未達及び粗利率の低下が影響し、それぞれ営業損失481百万円、経常損失465百万円、当期純損失386百万円となる見込みであります。

当期の見通しを踏まえまして、当第4四半期会計期間及び次期におきましては、業績の回復に向けて粗利率を改善し、経費削減及びインターネット販売事業に注力する施策を実施してまいります。

2. 不採算店舗の閉鎖について

(1) 店舗閉鎖の理由

競合店舗との競争激化、周辺の商環境の変化などにより業績の低迷が続き、これまで様々な収支改善対策を施してまいりましたが、今後も収益改善が見込めないため閉店することといたしました。

(2) 閉店する店舗

不採算店舗 10 店舗

(3) 閉店時期

平成26年9月を目途

(4) 業績へ影響

本件が平成26年8月期の当社業績に与える影響は軽微であります。

以上